

まちの話題

ISA City Topics



ボランティアできれいに



大口小木原のグラウンドを(株)富士建設の皆さんがボランティアで清掃してくださいました。

毎年この時期に行っていただいているもので、6月10日の作業では、グラウンド内の除草と桜の木の枝切りや追肥をされました。生い茂っていた草がなくなり、すっきりときれいなグラウンドになりました。ありがとうございました。

水道施設を巡回修繕点検



6月7日、水道週間に合わせて市内の小学校や保育園など16箇所を対象に、水道施設の巡回点検と簡単な修理サービスが実施されました。これは、伊佐市内の水道指定工事店24社の皆さんがボランティア活動で行われたものです。ありがとうございました。

水道の修繕はこちらへご連絡ください。
 大口地区水道修繕センター ☎②3 5 3 3 3
 菱刈地区水道修繕センター ☎②6 2 8 7 0

土曜も勉強がんばります



5月21日、「土曜いきいき講座」開講式が菱刈庁舎で行われました。

この講座は、外部講師による多彩な講座で小学生(算数クラブ・英検・パソコン)と中学生(国語・数学・英語・英検)を対象に学力向上と資質を高める目的で開設され、今年で3年目です。

今年は小学生30人、中学生43人の計73人でのスタートとなりました。

開講式では、永野教育委員長の挨拶のあと、菱刈中3年の永森彩夏さんが受講生を代表して「この講座を通して学力を向上させ、目標達成できるよう頑張ります」と誓いのことばを述べられました。

地域の人と芋植え体験



大口子育て支援センター「ルピナス」は、今年度から地域の人と子育て世代が交流できる活動を始めました。

6月9日、ルピナスがあるe-Gaなんちゅう（旧大口南中）横の畑で羽月校区コミュニティと親子5組が参加し、コガネセンガンとベニサツマの苗それぞれ100本を植えました。芋植えは初めてという親子が多く、慣れない手つきながらも棒を上手に使ってマルチに穴を開けて次々に苗を植え、土いじりを楽しんでいました。収穫は10月～11月の予定です。

走って転んで泥んこまつり



5月22日、曾木小学校の児童や保護者、曾木校区コミュニティが参加して「泥んこまつり」が開催されました。

ペットボトルを見つけ出す宝探しやフラッグ取り、リレーを学校前の田んぼで行いました。

田んぼではいつものよう走ることができず、転んで服も顔も泥だらけになる子どもが続出。途中からは父親たちや先生も加わり、子どもと一緒に泥水のしぶきをあげてはしゃいでいました。

西之表市から行政視察



姉妹都市である西之表市の区長の皆さんが、行政視察のため伊佐市を訪れました。

本城、田中校区コミュニティ会長による活動事例の説明や意見交換の後、疎開の縁で西之表市横山地区から平出水小学校に贈られたソテツを見学しました。

最後に視察した牛尾校区コミュニティの講話では、新たに始めた取組みや運営について紹介され、区長たちは興味深く聞き入っていました。質問も多くあり、有意義な視察になったようでした。

伊佐ふるさと大使クオンタイズ



福岡を拠点とするオーダーメイドドレスブランド「Quantize（クオンタイズ）」で活躍される中村展子さんと川野季春さんのお二人が伊佐ふるさと大使に再委嘱されました。

5月27日の委嘱状交付式には川野さんが出席され、クオンタイズ製の素敵なスーツに、同じくクオンタイズがデザインした伊佐市の法被を羽織って「伊佐をアピールします」と抱負を述べられました。

川野さんは贈られた記念品をその場で写真撮影し、さっそくブログで伊佐の特産品をPRされていました。

開花が楽しみ ヒマワリ畑



忠元公園横の市有林伐採地をヒマワリ畑に変身させます。

5月25日に行われた種まきには、みどり保育園の園児や大口明光学園中学1年生、人権擁護委員、更生保護女性会、保護司会の皆さん約80人が参加しました。

およそ50アールの土地に種まきされたヒマワリは順調に育っています。開花予定は7月下旬ごろです。

夏の忠元公園にもぜひお越しください。

親子で登頂



5月22日の日曜参観で、平出水小学校の児童と保護者、地域の方々などが鳥神岡登山をしました。

これまで学校行事で登山することはありましたが、保護者と一緒に登るのは今回が初めてでした。山頂に着くと、伊佐平野の景色を眺めながら弁当を食べたり、児童全員で校歌を歌いました。

大声大会もあり、家族や友人を前に一人ひとり将来の夢を大きな声で叫びました。

“ふるさと”を想い集う



全国に7つある伊佐市出身者やゆかりのある人で構成される「ふるさと会」。

5月28日に鹿児島伊佐会（写真）、29日に東海伊佐会の総会が開催されました。

鹿児島伊佐会は、フェイスブックでの情報発信や新たな会員の獲得に力を入れ、活発な雰囲気でも盛り上がっていました。

東海伊佐会では、会員相互の懇親がより深まり「ふるさと伊佐」を応援しようという機運が高まっていました。

ふるさと会加入などに関するお問い合わせは、伊佐PR課まで。

働く世代の健康づくり



「元気アップポイント忠元」が始まりました。働き盛りの40歳～64歳の運動習慣や健康増進の取組みを進めるこの活動に参加し運動するとポイントが貰え、集めたポイントは商品券と交換できる特典付きです。

参加者はポイントとなるスタンプをもらった後、30分以上のウォーキングやジョギングを行いました。健康運動指導士による姿勢や歩き方の指導もあり、参加した皆さんは楽しみながらいい汗を流していました。

現在の登録者は約110人。参加にはポイント手帳の交付申請が必要です。お問い合わせは健康長寿課まで。

18歳からの投票 選挙ミニ講座



選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられて初めての選挙が7月10日に実施されます。それに先立ち、5月18日に大口明光学園、23日に伊佐農林高校で選挙ミニ講座が開催されました。

生徒たちは、選挙管理委員会の職員から選挙の意義や投票の方法などについて説明を受けた後、模擬投票所で投票体験をしました。
※選挙権年齢引き下げに伴う注意について、20ページに掲載しています。

被災地へ広がる支援の輪



熊本県で地震被災された方々に、何かできないかと動いた共進自治会青壮年部の呼びかけに、県内の有志が立ち上がり義援金を募ったところ約100万円が集まりました。そのほか飲料水160箱、米163俵（10kg用米袋）、被災者から要望があった生活に必要な品物を持って、4月21日と25日の2回に分け、7カ所の避難所等を訪問し手渡すことができました。

被災者の方々は、手を合わせ拝むように喜んでくださり、胸が熱くなったとのこと。一日も早い復旧、復興をお祈りいたします。

伊佐こどもまつり



5月22日、「第6回伊佐こどもまつり」が市内有志の保育園、幼稚園、発達支援センター、子育て支援センターと市の共催により開催されました。

会場の伊佐市総合体育館には、赤ちゃんコーナーや段ボール迷路、大型積み木、ロケットなどの製作コーナーといった遊び場が設けられ、親子で遊びを満喫していました。

NPOこども医療ネットワークの協力による小児科医相談コーナーも設置され、相談者の子どもの健康や子育てといった悩み解決に役立っていました。

カヌーで全国、世界へ



8月の全国高等学校総合体育大会に出場する伊佐農林高等学校カヌー部と、9月にハンガリーで開催されるジュニアの国際大会・オリンピックホープス大会に日本代表として出場する大口中央中学校3年の崎山溪さんが、市長を表敬訪問しました。

市長の激励を受けた選手の皆さんは「全力を尽くして良いレースをしたい。優勝できるよう頑張ります」と意気込みを語りました。